

小学校 中 学年< 3 - (1) >

| | | | | | | | |
|-------------------|--|--------|--------------------------------|--------|-------|--------|-------|
| 学 年 | 3年 | 時 間 | 社会科「わたしのまち みんなのまち」 1 学校のまわり | 時 期 | 4月～5月 | 時 数 | 全12時間 |
| 目 標 | <ul style="list-style-type: none"> 自分たちの住んでいる身近な地域の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物などを理解し、地域社会に対する誇りと愛情をもつとともに、防災の視点で地域を見直す。 身近な地域の様子から防災の視点で学習問題を見だし、観察・調査して調べたことを絵地図や白地図などにまとめるとともに、場所による様子の違いや身近な地域の特色やよさを考え適切に表現する。 | | | | | | |
| 資 料・ 準 備 | 校区の地図、白地図、航空写真、公民館へ依頼、 | | | | | | |

展開 (1 2 時間の流れ)

| | 学習活動と内容 主な学習活動(○) | 指導上の留意点 支援(○) 評価(☆) |
|---------------------------------|--|--|
| つ か む | 1 通学路や家のまわりの様子を思い出し、どんな自慢の場所があるか紹介しあう。(1時間) 2 「つかむ→調べる→まとめる・いかす」という学習の流れを確認しながら、学校のまわりを調べる計画を立てる。(2時間) | ○生活科での学習経験を引き出しながら、自慢の場所を出させたい。 ○防災の観点から校区を見る視点を持たせる。 ○地域の土地の高低、土地利用、道路の様子、公共施設等の場所を知るといった観点を持たせる。 |
| 調 べ る | 3 グループ毎に、学習計画に基づいて学校のまわりを探検する。(4時間) ○各グループ(自分の登校班を含む近くの登校班員とグループを組む、または、通常の学習班で構成員が4名～6名程度が動きやすい)毎に学校から()までの道を歩き、見つけたり不思議に思ったりしたことを白地図にまとめる。 ○できるだけ詳しく調べ、伝えることができるようにまとめる。 4 地域の公民館については、今後の学習や地域とのつながり子民間行事との関わり等もあるため、全員で見学し、職員から話を聞き、はたらきについてまとめる。(1時間) | ○T T等による複線型の活動とし、コース別に探検して最後に1枚の地図にまとめる。 ○探検コースについては、学校を中心におおまかに「東西南北」に分けたり、地形や土地利用の特徴が捉えやすいコースを設定したりする。 ○交通量や人通りの多い場所では、安全面の配慮 ○複線型の学習であるため、他のグループの友だちに自分のコースで見つけたことを伝えるという視点を明確にもたせる。 ○地域にある石碑や建物、防災施設・設備等、防災関連のものも見つけさせたい。(例は「のこしたいものつたえたいもの」を参照) ☆調べる視点に基づいて探検し、特色ある地形や土地利用、主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の場所と様子などを白地図や探検メモに記入している。〈技能〉 ☆広い道と狭い道、道路のこちら側と向こう側、坂道の上と下など、場所によるまわりの様子の違いについて考えたことを、白地図や探検メモに適切に表現している。〈思判表〉 ☆身近な地域の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設の場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物の場所と様子や、地域のよいところを理解している。〈知理〉 |
| ま と め る い か す | 5 コース毎にまとめた絵地図をつなぎ合わせて、分かったことを発表しあう。(2時間) ○災害時の避難経路や避難場所についても話しあう。 6 地図記号を入れて絵地図を書き直す。(1時間) 7 地図と航空写真を比べ学校の周りを探検して分かったことをまとめる。(1時間) | ○災害(地震、津波)などが起こった場合の逃げ道や避難場所等についても確認しておく。 ○安全な場所や道路、公共施設(避難場所)等には、色を塗り、よくわかるようにする。 ○作成した地図は、学校のみんなが見られる場所に掲示する。(低学年にも分かるよう、絵地図のままのものがよい。) |